

# Candle Night 1 Pi:ce Peace & Green Boat 2008開催報告書



2008年12月25日

Candle Night 1 Pi:ce実行委員会  
代表 吉澤武彦

事務局:大阪府北区中崎西4-1-30  
URL:<http://www.1pi-ce.jp/>  
E-mail:[yoshizawa@1pi-ce.jp](mailto:yoshizawa@1pi-ce.jp)

## Candle Night 1 Pi:ce(キャンドルナイトワンピース) 概要

2007年には700万人が参加したといわれる「キャンドルナイト」。

通常キャンドルナイトはライターやマッチ等でそれぞれのキャンドルに火を灯しますが、それを一つの火で、「平和の火」で実施しようという企画が「Candle Night 1 Pi:ce」です。

「平和の火」とは福岡県八女郡星野村に存続する原爆の残り火です。故山本達雄氏が広島叔父の位牌の変わりに持ち帰った残り火を23年間絶やさず守り続け、今は星野村の「平和公園」移され大切に守られている火です。

キャンドルナイトを通して「平和の火」に直接接する事で、「地球の事」「平和の事」「同じ火を見つめる世界中の仲間達との繋がり」を感じていただく機会に、そして、なによりもまず、この火の存在をしていただく機会になればという想いで2007年冬至、2008年夏至に実施いたしました。

## Peace & Green Boat 2008 概要

日本人と韓国人が約250名ずつ乗船し、平和と環境について考え、議論し、交流するPeace & Green Boatが2005年からNGOピースボートと韓国環境財団がコーディネート元で行われております。2008年は11月21日に神戸を出発し、石垣、基隆、釜山、広島に立ち寄る8日間のクルーズが行われました。今回Candle Night 1 Pi:ce実行委員会はNGOピースボートから要請があり、今回のクルーズで平和の火を運び釜山と広島でキャンドルナイトを日韓合同で開催するという企画に協力させていただくことになりました。

### <クルーズスケジュール>

- 11月21日 神戸出発※1
- 11月24日 石垣島
- 11月25日 基隆(台湾)
- 11月27日 釜山(韓国)※2
- 11月28日 広島※2

※1. 神戸で開催された出港記念交流パーティ及び出港式にて平和の火がランプに灯され紹介されました。キャンドルナイトは開催していません。

※2. 釜山、広島にてキャンドルナイトを開催いたしました。

※3. 船の中では平和の火はカイロにて保存しておりました。



# Peace & Green Boat 2008での取り組み

Candle Night 1 Pi:ce実行委員会は下記内容をPeace & Green Boat2008にて取り組みました。

1. 星野村から今回のクルーズを通して平和の火を運ぶピースフレンドの募集
2. 集まったピースフレンドが平和について学ぶ合宿及び採火式典の開催
3. クルーズ内での平和のワークショップの開催
4. クルーズ内での平和の火の管理
5. 釜山でのキャンドルナイトへの協力
6. 広島でのキャンドルナイト開催



# クルーズまでの準備

実行委員会がまずそれぞれの問題を深く受け止める事が大切であると考え、クルーズに望む前に日韓の問題、原爆の問題について事前にフィールドワークを行いました。

## ＜日本国内でのフィールドワーク＞

在日韓国朝鮮人の方々への取材、戦争遺跡「タチソ」フィールドワーク参加、ワンコリアフェスティバルへスタッフとして参加、講演会・上映会主催等日本国内にて行いました。



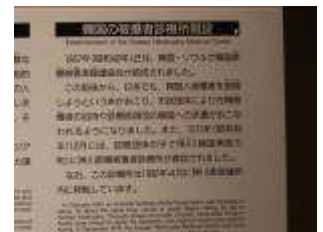
## ＜韓国でのフィールドワーク＞

水曜デモ見学、独立記念館、戦争記念館、ナムムの家、景福宮、安重根記念館等日本に対する「恨(ハン)」を肌で感じるためのフィールドワークを韓国にて行いました。(11/4～8)



## ＜広島でのフィールドワーク＞

被爆者協会へ事前報告、平和公園・資料館訪問を行い、広島・原爆の問題について改めて深く認識する機会を作りました。



# 合宿・採火式典

募集し集まったピースフレンドが平和の火の採火及び事前の学習のために星野村に集まり合宿を行いました。

## <概要>

日程: 11月16日・17日(採火式は17日)

場所: 福岡県星野村(池の山キャンプ場・錠光釜・平和公園)

参加人数: 10名(実際にクルーズに乗船したピースフレンドは3名)

## <平和学習>

日韓の問題について、原爆について、平和の火について講義を行い、平和の火の採火を受ける前にそれぞれの問題や重さにしっかり向き合いました。  
平和の火の講義の際には、山本拓道氏にご協力いただきました。



## <採火式典>

平和の火の扱いについての最終確認し、ピースフレンドの誓いの言葉をうけとり、一人ずつ平和の火を採火し、最後に黙禱を行いました。



## 出港パーティ・出港式の様子(神戸)

クルーズの出発地であった神戸では出港パーティ及び出港式が行われました。

<Peace & Green & Asia交流パーティ>

日程:11月21日(金)

時間:18:00~20:45

場所:神戸市勤労会館

参加者:約60名

対象:クルーズ乗船者

関西近郊NGO及び市民団体従事者

主催:Peace & Green & Asia交流パーティ

実行委員会

内容:平和の火について説明、

田中優講演会、交流ワークショップ



平和の火はランプに灯され、Candle Night 1 Pi:ce実行委員会より平和の火について説明と、今回の取り組みについて集まった参加者に説明を行いました。

★パーティ終了後ランプの火は消灯しました。

<出港式>

日程:11月21日(金)

時間:21:30~22:00

主催:PEACEBOAT

内容:挨拶、趣旨説明、

平和の火について説明、ゲスト紹介等



平和の火は対岸で灯し(船上では灯すことができないため)、船上からCandle Night 1 Pi:ce実行委員会及びピースフレンドより平和の火について説明を行いました。

★出港式終了後ランプの火は消灯しました。船内ではカイロで保存しました。



## 船上でのワークショップ

船上で、乗船者に平和の火について詳しく知っていただくワークショップを行いました。

### <第1回>

日程:11月23日(日)

時間:18:45~19:45

参加者:約50名

内容:平和の火に関する映像上映

ピースフレンドから解説(唐川)

平和の火に関する活動の紹介(大塚・崔)

### <第2回>

日程:11月26日(水)

時間:17:00~17:30

参加者:約20名

内容:平和の火に関する映像上映

ピースフレンドから解説(唐川)

平和の火に関する活動の紹介(大塚)

ワークショップの中で、2009年夏至にキャンドルナイトを開催していただける方の呼びかけを行ったところ、韓国在住のご夫婦が名乗りを上げていただきました。

韓国の方にも実行委員及びピースフレンドの想いが伝わった事を非常に嬉しく思います。



2009年夏至に韓国でキャンドルナイト実施を希望していただいたご夫婦。

## 釜山キャンドルナイト

事実上日韓合同の最後のプログラム(韓国側は釜山で大半が下船されるため)として釜山にてキャンドルナイトが開催されました。

日程:11月27日(木)

時間:16:00~18:30

場所:民主公園

参加者:約100名

主催:PEACEBOAT、民主公園

内容:在韓被爆者の話、ピースフレンドから平和の火について説明、黙祷、  
日韓アーティストのライブ、日韓合同ミュージカル上映



平和の火はランプに灯され舞台上に設置されました。

ピースフレンド(大塚有子)より平和の火について説明を行い、在韓被爆者のお話の後、参加者一人ひとりのキャンドルに灯されました。

★キャンドルナイト終了後全てのキャンドルは消灯されました。



# 広島キャンドルナイト

クルーズ最後のプログラムとして広島にてキャンドルナイトが開催されました。

日程: 11月28日(金)

時間: 18:00~18:30

場所: 広島平和記念公園 韓国人原爆犠牲者慰霊碑前

参加者: 約100名

主催: Candle Night 1 Pi:ce実行委員会

内容: 平和についての話(スティーブン・リーパー氏、ジョアンナメーシー氏、  
お話、平和の火についての話、黙祷、祈りの歌



平和の火はランプに灯され慰霊碑前に設置されました。

ピースフレンド(崔寛員)より平和の火について説明を行い、彼の手元から参加者全員に火が灯されました。

★キャンドルナイト終了後全てのキャンドル、ランプ、カイロの火は全て消灯されました。

韓国朝鮮人被爆者の方々を偲び、歴史的な事実と向き合い、そしてハンゲルの祈りの歌を捧げました。参加していた日本人、韓国人、在日韓国朝鮮人が皆涙を流しながらしっかりと重みを感じ、今後の平和的な友好を胸に刻むキャンドルナイトを開催することができました。



# メディアでの紹介

各種新聞に取り上げていただきました。

11月20日神戸新聞朝刊



11月29日毎日新聞朝刊



11月29日中国新聞朝刊



11月29日読売新聞朝刊



12月5日人民新聞



# 収支

<収入>	
合宿参加費	21000
ワンピース基金	2160
収入合計	23160
<支出>	
韓国渡航費	46200
韓国滞在費(ホテル代・ソウル⇄釜山移動費)	17500
韓国滞在準備費	5013
広島交通費(大阪→広島)	10000
広島滞在費	6090
星野村交通費(広島→星野村、星野村→大阪)	32960
星野村滞在費(宿泊費)	9000
Peace&Green Boat2008参加費	84000
現地プログラム参加費	15400
チラシ印刷費	6875
カイロ代・燃料代	10903
資料購入費	12263
送料	1460
その他雑費	2220
支出合計	259884
収支	-236724

収入合計23,160 ― 支出合計259,884 = 実質差額 236,724

【備考】 実質差額236,724円は 代表吉澤が215,244円、事務局スタッフ西村が21,480円負担しました。



# クルーズを終えて

## 2009年夏至の日韓合同キャンドルナイトに向けて

クルーズを終えてまず思うことは、キャンドルナイトワンピース実行委員会として素晴らしい経験をさせていただいたということに対する感謝です。

今回のクルーズの実施に向けて、日韓の問題にしっかり向き合った上で実施するという事を念頭におき、様々な取材やフィールドワークを行いました。その甲斐あり、実行委員として日韓問題及び平和について様々な学びを得る機会を得、そして日本国内、韓国に多くのネットワークを持つ事ができました。

そして、この一連の動きの成果として日本人、在日韓国朝鮮人はもちろん、韓国人の方々に対しても星野村の火の存在を多くの方に知っていただき、そして平和について考える機会を作れたと思います。

なにより2009年の夏至のキャンドルナイトで一緒に開催したいと希望していただけた韓国の方と出会う事ができたのが最大の成果であったと思います。その方は韓国の中で最も在韓被爆者が多く住む地域である陝川(ハプチョン)で在韓被爆者の支援を行っていらっしゃる方でした。これからの私達の取り組みが、日本だけでなく韓国の方々に対してもこの火の存在を知っていただき、そして、日韓の友好及び、在韓被爆者の方々の生活向上に何らかの貢献ができればと考えております。

来年夏至のキャンドルナイトに向けてしっかりと取り組んでまいりたいと思っておりますので、どうぞ今後ともよろしく願いいたします。

Candle Night 1Pi:ce実行委員会  
代表 吉澤武彦

